

日時等



JapanFest ポスター

- 実施日時: 2023年9月16日(土)
- 実施場所: ジョージア州ドゥルース市
- 訴求対象: ジョージア州議会議員、同州政府職員、地元商工会関係者、大学関係者等
- 開催規模: 81名出席(州議会議員8名を含む)

概要



企業ブース訪問



花笠音頭の鑑賞

- 毎年ジョージア州ドゥルース市で開催され、米国南東部で最大規模の日本イベントJapanFest(ジャパンフェスト)に**ジョージア州議会議員、州政府関係者や地元商工会関係者等の要人を招待し、日系企業のブースや日本文化パフォーマンスに案内し、現地における日系企業の役割の大きさや日本文化に関する理解を促進した。**
- また、会場内でレセプションを開催し、現地の日系企業関係者等も参加したことで、**要人と日系企業関係者等との関係構築に貢献した。**

効果

前田総領事と
ジョージア州議会
議員小島清頭
ジョージア日本商工会
会長

- 会場内では日本関連の様々な展示や花笠音頭のパフォーマンス、ワークショップ等が行われ、多様な日本の魅力を発信することができた。
- JETROアトランタ事務所やジョージア日本商工会の協力を得て要人を日系企業ブースに案内し、**現地の日系企業による雇用創出や人材育成等の貢献を直接説明することで、要人の日系企業への理解を促進する機会とすることができた。**
- アンケート回答者全員が日本の好感度が高まったと回答し、**回答者の82%が日本についての理解が深まったと回答した。**

特記事項



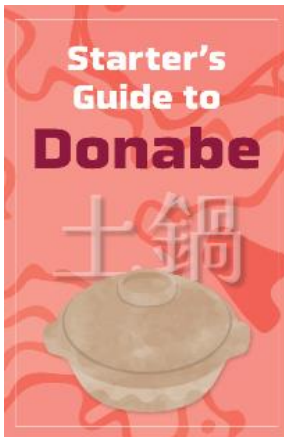
- 州議会議員等の要人に、現地日系企業が担う役割の大きさや日米間連携の重要性を発信することができた。

日時等



7月9日のイベントの様子

概要



2月12日のイベントの様子

効果

- 実施日時: 2023年7月9日(日)、2024年2月12日(月)
- 実施場所: ウォルター・E・ワシントン コンベンションセンター、旧大使公邸及び市内の飲食店(ワシントンDC)
- 訴求対象: 米国政府、IT企業など各界で活躍するJETプログラム(外国語青年招致事業)経験者、ワシントンDC当局、ワシントンDCレストラン協会所属の料理人・シェフ等
- 実施規模: 約2,600人

(7月9日)

- ワシントンDCレストラン協会が毎年開催する授賞式・祭典であり、**2,500名以上の飲食業界の関係者**が来場する「RAMMYS2023」において、日本大使館からブースを出展。

(2月12日)

- 「RAMMYS2023」の機会を捉え、同協会のシェフとのつながりをさらに深めるとともに、日本にゆかりのあるJETプログラムの経験者のネットワークを活用した日本食文化の普及のため、日本産の鍋料理を紹介する教育イベントを行った。

(7月9日)

- 飲食業界の関係者が多数来場したため、**その後の取引につながるような具体的な質問**も多く寄せられた。
- 大使館のSNSアカウントを通じた発信も行い、その後の**SNSを用いた日本食材の魅力**を飲食業界に**継続的に発信する契機**となった。

(2月12日)

- レストランのシェフからは、土鍋調理の敷居の高い印象が軽減されるとともに、特に**コメの味を評価する声**があった。あるレストランのシェフは、**イベント後に土鍋料理をメニューに取り入れ、SNSにも投稿**された。

港の州メリーランドセミナーにおける日本酒PRイベントの実施

【在アメリカ合衆国大使館】

日時等



メリーランド州運輸長官と
野村経済公使

- 実施日時: 2023年12月6日(水)
- 実施場所: ボルチモア市ワールド・トレードセンター21Fセミナー会場(メリーランド州)
- 訴求対象: **メリーランド(MD)州閣僚(運輸長官、商務長官)**、同州運輸局、同州商務局、ボルチモア市、州ビジネス界等
- 開催規模: 272名

概要



メリーランド州商務長官(中央)
と、同公使他

- MD州運輸局及び州商務局が共催し、インフラ関係企業が集うセミナー会場内に、**日本ブースを設置し、同州における日本企業事業を紹介**するとともに、日本酒の試飲を行うことにより、**運輸長官、商務長官並びに州ビジネス界との交流**を深めた。
- 「港の州メリーランドセミナー」会場にて、7か国の大使館が自国産のワインを提供し、各国の産業・観光等のPRを行った。日本ブースでは、現地で入手可能な日本酒5種の紹介及び試飲を実施。



日本ブースの様子

- **MD州商務長官及びボルチモア市副市長、その他州政府関係者へ日本酒及び日本企業案件を紹介しつつ、関係構築**を行うことができた。
- **日本企業がMD州内で実施中のインフラプロジェクトについて、認知を拡大**することができた。
- セミナー開始前には、運輸長官と経済公使との個別の面会を実施。課題となっている日本企業案件の前進に向け州側からのコメントを聴取することができた。

効果



五種類の日本酒を提供

- 当該セミナーには合計272名が参加。他国(アルゼンチン・ジョージア・オランダ・ポルトガル・南アフリカ・ウクライナ)がワインを提供する中、日本ブースでは日本酒の試飲できる場であったことから、多くの参加者が立ち寄った。商品紹介資料から、実際の購入画面へ進み、是非購入したいとの声も多く聞かれた。



セミナーの様子

日時等



9月24日
アイダホ州ボイジー



3月25～26日
メイン州ポートランド



2月26日
サンフランシスコ



3月19日
インディアナポリス

(1) 各日米協会主催の各地域に重点をおいた広報プログラム

実施時期 実施場所(トピック)

- ①2024/1/30 ワシントン州シアトル(エネルギー)
- ②2024/2/7 オハイオ州コロンバス(高齢化社会)
- ③2024/2/23 テキサス州ヒューストン(エネルギー)
- ④2024/2/26 サンフランシスコ(LGBT)
- ⑤2024/3/1 テキサス州プレイノ(サステナビリティ・都市開発)
- ⑥2024/3/15 オレゴン州ポートランド(女性活躍)
- ⑦2024/3/19 インディアナ州インディアナポリス(投資・イノベーション)
- ⑧2024/3/20 ロサンゼルス(安全保障、地経学)
- ⑨2024/3/21 ペンシルベニア州ピッツバーグ(気候変動)

(2) 日米交流が少ない地域に重点を置いた広報プログラム

アイダホ州ボイジー(2023/9/24)、ネブラスカ州カーニー(2024/3/24)、メイン州ポートランド(2024/3/25-26)

- 関係機関: 全米日米協会連合会 (NAJAS) 及び各地日米協会
- 訴求対象: 地元企業関係者、地元有力者、その他一般参加者
- 開催規模: 各イベント50～900名程度

概要

- 令和5年度は、全米9地域にて各地日米協会主催の広報プログラムが実施され、**各地域の特徴・主要ビジネス等を生かしつつ、クリーンエネルギー、サステナビリティ、イノベーション等、「行動計画3.0」にも合致する日米共通の課題や日米の協力分野に関する未来志向のテーマの下**実施された。

- さらに、日米協会が存在せず日本のプレゼンスの少ない計3地域においても、**日本の認知度、関心を高めるための日本食、日本酒、日本文化などを切り口としたプログラム**が実施された。

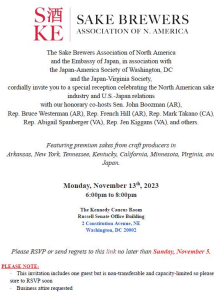
効果

- 全米9地域にて実施された広報プログラムでは、**米国各地に所在する日系企業の取組や活躍を焦点**にあて、社会的課題に対する日米協力の可能性を議論することを通じて、**米国各地の幅広い産業・分野の人々の対日理解及び各分野におけるパートナーとしての日本という認識の向上**につながった。

- さらに、各プログラムは、**特定の分野に関心を持つ日米のビジネス関係者が集まることから重要なネットワーキングの機会**としても役割を果たし、日米民間協力の促進につながった。

- また、3件の地域プログラムについては、900名もの参加者を得た事業もあり、これまで日本の存在感が少なかった地域の人々に広く日本に関心を持ってもらう機会となり、今後の日米草の根の交流、民間協力等のための素地をつくるものとなった。

日時等



- 実施日時: 2023年11月13日(月)
- 実施場所: 旧大使公邸(ワシントンDC)
- 訴求対象: 日米日本酒関係者、連邦議会関係者
- 開催規模: 400名(サミット部分は75名)

概要



- 日米の酒米農家、酒蔵、輸入業者、流通業者、小売業者等、**日本酒のサプライチェーンに携わる75人の関係者が旧大使公邸に集まり、討論会(サミット)が行われた。**グローバル市場で日本製品をマーケティングすることは北米での日本酒販売の一つの課題であり、**ジャパニーズウイスキーの北米での成功について、サントリー社の関係者からプレゼン**が行われた。
- サミット終了後は、約400名を招き、**連邦議会でネットワーキングレセプションを開催。**ジョン・ブーズマン上院議員(アーカンソー州選出)や、マーク・タカノ下院議員(カリフォルニア州選出)等、**6名の連邦議会議員が参加した。**

効果



- サミットでは、**昨年の議論に基づき、日本酒を振興する戦略について、ジャパニーズウイスキーなどの成功例も参照しつつ、議論を深めることができた。**
- 議会内で開催されたレセプションの機会を捉え、**北海道産のホタテ等を用いた寿司を提供し、安全性をアピールするとともに日本の水産物業界を支援。**
- レセプションを議会で開催できたことで、**昨年を上回る数の連邦議会議員、より多くの議会スタッフや米政府関係者の参加が実現し、日本酒への理解を深める場を設けることができた。**北米での日本酒の振興は経済効果を超えて、日米関係をより強固にするものとの認識を共有でき、振興への意気を高める効果があった。

日時等



- 実施日時: 2024年3月19日(火)
- 実施場所: 連邦議会議事堂(ワシントンDC)
- 訴求対象: 連邦議員、議会補佐官、日系企業関係者等
- 開催規模: 100名

概要



- 全米桜祭りの期間中にワシントンDC日米協会と共催で**議会関係者と日系企業関係者を招待したレセプションを議事堂内で開催**。
- 同協会主催の桜祭りは、議会近辺で開催されるワシントンDC最大のストリートフェスティバル。そのスポンサーである日系企業から、議会関係者との交流の機会を求める声上がり、2022年から議会関係者とスポンサーの交流の機会の設定を目的としたレセプションを開催。
- **姉妹都市交流**、日本酒のプロモーション等の様々な分野で両者間の協力関係の強化について議論される場を提供。
- **連邦議員・議会関係者と日系企業間の接点を形成し、日系企業が米国及び議員の選出州等での活動について幅広くアピールする場**となった。

効果



- 同レセプションには、**超党派で上院議員3名、下院議員2名をはじめ、多くの議会補佐官が出席**。出席した**日系企業関係者等と懇談し、両国の経済関係の強化について議論**される機会となった。
- 獺祭の蔵元で最近ニューヨーク州に酒蔵を建設した旭酒造やマルスウィスキーの協力で参加者に商品のサンプルが提供され、議会内で日本酒や日本産ウィスキーの魅力を発信することができた。

量子技術産業基盤の日米連携を目指したイベント

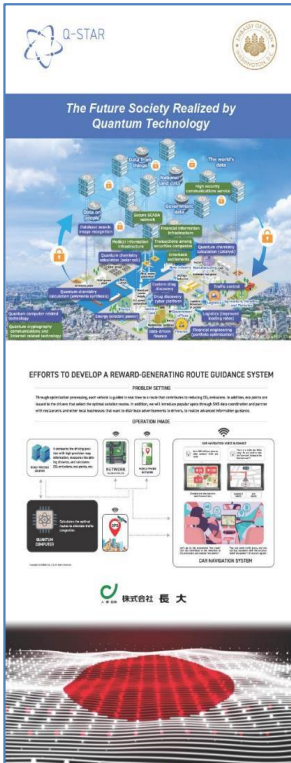
【在アメリカ合衆国大使館】

日時等



- 実施日時: 2023年9月26日(火)～9月28日(木)
- 実施場所: Capital One Hall (バージニア州タイソズ)
- 訴求対象: 企業関係者(含むスタートアップ企業)、連邦政府関係者、メリーランド州政府関係者、大学関係者等
- 開催規模: 700名(うち説明実施は300名程度)

概要



- 日米両政権の重点施策であり、**日米競争力・強靱化(コア)パートナーシップの重要施策に位置付けられた量子科学技術**について、日米間の連携を促進するため、昨年に引き続きワシントンDC近郊で開催された「**量子世界会議**」に我が国としての**唯一のブース**を出展。
- ブースでは、(一社)量子技術による新産業創出協議会(Q-STAR)との連携の下、Q-STARの組織概要、メンバー企業、活動内容、**我が国の特色・強みである量子ユースケース**等を紹介。
- ブースには、**日本との連携に興味をもつ米国の企業関係者、議会関係者、連邦政府関係者、州政府関係者、大学関係者など多くの来場**を得た。

効果



- **スタートアップ企業を中心にQ-STARとの連携に関心を示す企業が多数。**
- 昨年出展時と比較して、より**実務的な面で具体的な研究協力を求める米国量子関係者**が目立った。
- ブースに来訪した米国、韓国、カナダ、オーストリア、フランス等の政府関係者との交流を通じ、**日本の国際プレゼンス向上に貢献**。米国商務省配下の技術部門である国立標準技術研究所(NIST)やNASAのプロジェクトマネージャーらとの関係を構築する場もなった。
- アンケートに回答した全員が日本ブースに満足したとの回答。また、**9割以上**が日本の量子産業構築に向けた取組やQ-STARの活動への理解が深まったと回答。

海上保安庁練習船こじまのボルチモア寄港に際する日本食・日本酒PRイベントの実施 【在アメリカ合衆国大使館】

日時等



海上保安庁練習船こじま



メリーランド州務副長官とこじま艦長



提供された日本酒・日本食



書道体験



海保大応援団

- 実施日時: 2023年6月4日(日)
- 実施場所: ボルチモア市内ホテル(メリーランド州)
- 訴求対象: **メリーランド州閣僚、州議会議員**、州商務局関係者及び州務局副長官、ボルチモア市、神奈川メリーランド姉妹州委員会、川崎ボルチモア姉妹都市委員会、現地食品産業、外食産業、米沿岸警備隊、海軍兵学校、メリーランド大学、ボルチモア校関係者等
- 開催規模: 375名

- **メリーランド州ボルチモア市内の日本食の普及促進及び日本酒の輸出促進**することを目的とし、海上保安庁練習船こじまのボルチモア寄港の機会を捉え、メリーランド州ボルチモア市の米国人に対して、日本食や日本酒を提供するイベントを実施。
- ボルチモア川崎姉妹都市委員会の有志メンバーを委託先とし、練習船こじまの停泊場所付近のホテルでレセプションを開催。こじま乗組員による剣道、応援団、書道の披露を行ったほか、メリーランド州と姉妹州関係にある神奈川県の日本酒「S.tokyo」(中澤酒造)をはじめとした各種日本酒や日本食の魅力を発信した。

概要

効果

- 海上保安庁練習船こじまの見学と本イベントの両方に参加し、日本に対する関心がさらに深まったという反応があった。
- 本イベントに参加した日本酒造から、本イベントでの反響を受け、米国市場への販路開拓を検討するといった声があった。

日時等



イベントフライヤー

- 実施日時: 2023年9月15日(金)
- 実施場所: 大使館旧公邸(ハイブリッド形式)
- 訴求対象: 日米の研究者、政府関係者、製薬企業等
- 開催規模: 約120人

概要



ジョン・オーシア博士

- 日米のがん分野における協力強化を目的に、日本医療研究開発機構(AMED)と米国国立衛生研究所(NIH)の協力の下、「**日米がん共同研究の推進**」をテーマに開催。冒頭、野村公使から、**日米医療分野における日米協力の重要性**を強調する挨拶がなされた。
- ジョン・オーシア(John O'Shea)博士、エミーズ・ジローズ(Emese Zsiros)博士等日米のがん研究の著名な研究者より、**最先端の免疫研究の内容、医療分野における女性のキャリアパス等**に関する講演や聴衆参加型のグループディスカッション等を実施。

効果



エミーズ・ジローズ博士

- 上述の講師以外にも日米両国から複数の研究者による幅広い議論が展開され、**産学官含めた日米研究協力の重要性に対する理解の強化、取組の促進に資するイベント**となった。
- **研究者のみならず、ヘルスケア分野や政府関係者の参加**も見られ、幅広い層にアプローチすることができた。

特記事項



当日の様子



当日の様子

- **日米の研究機関や製薬企業等の関係者が多数参加し、イノベーション・科学技術分野の連携促進**に貢献。
- 米国のがんムーンショット構想を支持する日米韓三国間声明(2023年)のフォローアップにも資するイベントとすることができた。

日時等



Wendy Carter
 Our group of emerging female leaders so enjoyed our meeting with AMO Yamada! Get ready soon! These up and coming young women are your future!
 Japan Embassy DC @usstateinfo @JPI2024
 I was pleased to welcome the participants of Asia Society's Japan Emerging Female Leaders Program to DC. It gave you the most of the opportunity to discuss our trade policy objectives and work with you the best in your efforts to enhance Japan-US economic ties. Ambassador Yamada



7/18/24, 2:04 PM (UTC-7) 1,128 views

概要

- 実施日時: 2024年2月12日(月)~16日(金)
- 実施場所: ワシントンDC及びニューヨーク
- 訴求対象: 米国通商政策関係者及び貿易関連業務に携わる若手日本人女性実務者・専門家
- 参加規模: 公開イベント150名(オンライン含む)

- **貿易関連業務に携わる若手日本人女性実務者・専門家を米国に派遣し、米国通商政策、経済安全保障、女性の活躍促進等に関する講義、公開型パネルディスカッション、ヤング・キム下院議員表敬、米企業関係者との意見交換等のセッションを実施。**
- ダニエル・ラッセル元米国務次官補、クリスティン・ブリス元米国通商代表補等、**米国通商政策・日米関係に精通した政府関係者・有識者が講師として登壇し、全セッションにウェンディ・カトラー・アジア・ソサエティ研究所副所長(元米国次席通商代表代行)がモデレーター又は講演者として参加。**
- **公開型のパネルディスカッション2件を実施。**①**日米サプライチェーン協力をテーマに、現地女性貿易関係者団体とアジア・ソサエティ研究所共催で行われ、50名が参加。**②**日本における女性活躍をテーマに、ハイブリッド形式で開催し、計100名が参加。アジア・ソサエティ研究所のYouTube(登録者数36万人)でも公開された。**
- 大使館SNSに加え、アジア・ソサエティ研究所、カトラー副所長個人、ジョシュア・ウォーカー・ジャパンソサエティ理事長が本プログラムや上記公開イベントについて**SNSで発信。**

- **米国政府・議会・企業関係者等との人脈形成のみならず、日本の通商政策や女性活躍についても参加者から直接発信する場とすることができた。**
- アンケートでは、**参加者全員が期待を上回る内容だったと評価。**「オンラインセミナーでは通常得られない、米国の政策の背景をより明確に理解できた」活躍する女性同士のネットワークを得られた等の声があった。

効果

日時等



- 実施日時: 2024年2月8日(木)
- 実施場所: 大使館旧公邸
- 訴求対象: オソフ上院議員事務所、日本企業
- 開催規模: 21名

概要

- ジョージア州選出ジョン・オソフ上院議員事務所補佐官からの求めに応じ、**ジョージア州で事業を行っている又は進出を検討している日系企業と同事務所の接点強化を目的とした意見交換会及び懇親会を開催。**
- **日本企業による同州における事業概要のプレゼンテーション**を行い、オソフ議員事務所補佐官との質疑応答を経て相互理解を深めた。プレゼンテーションの中にはオソフ上院議員に対する要求や政府規制など新規進出、事業遂行又は事業拡大を行う上で課題となりうる事象を共有するものもあった。
- その後、旧公邸にて日本食及び日本酒類を提供する懇親会を行い、**更なる関係構築**に貢献した。

効果

- **現地の日本企業と同事務所の接点強化**を目的にジョージア州(もしくは米国)における事業説明を補佐官に対して行うことで、相互理解を深めることに成功した。
- 参加した複数の日本企業からは、**普段議会補佐官との接点がないため今回の機会は有意義だった**と謝意が示された。同議員の補佐官と接点を持つことは今後同州における事業進出・継続・拡大時において企業にとって有益。本意見交換会及びレセプションを通じ、**両者の関係性強化を大使館として側面支援を行う。**
- **オソフ議員事務所との更なる接点強化**ができたことは**今後の議会対策に資するもの**となった。更に懇親会を通じてより緊密な意見交換や人脈作りを行い、**今後繋がるネットワークの形成**を行うことができた。

日時等



- 実施日時: 2024年2月27日(火)
- 実施場所: 大使館旧公邸(ワシントンDC)
- 訴求対象: 日本に関心の高い若手米国人
- 開催規模: 若手米国人 66名
日系企業関係者等 27名

概要



第1部の模様

- 日系企業で働く米国人等3名等により、**日系企業での自身の役割、日々の仕事で感じる挑戦、これから就職を考える学生等への助言等に関するパネルディスカッション**を実施。グローバルに活躍する日系企業は多くあり海外人材のニーズが高いことや多くの企業の人と実際に話し、自分が携わりたい分野を明確にすることが重要であること等のメッセージが発せられた。
- 第二部のネットワーキングセッションでは、**日系企業等17社**の社員及び大使館職員も含め、**各社の業務内容、キャリア構築に際してのアドバイス等をテーマとした交流会**を実施。

効果



第2部の模様

- 学生等向け事業後アンケートでは、「自分の**視野が大きく広がった**」、「**パネルの内容がよく整理されていたし、企業情報も配布物から入手できて助かった**」「**企業の方とカジュアルに話す機会が持て、同じような経歴を持つ方のキャリアパスなどが参考になった**」等のコメントが寄せられた。
- 企業関係者向け事業後アンケートでは、「日本と何らかの接点を持ったキャリアへの理解向上の一助になったと思われる」「**日本文化や日系企業での就労に関心がある学生が多くいることが分かった**」等のコメントが寄せられた。

特記事項

- 米国において日本語教育を受けている等日本に関心のある若い層に対して、**将来のキャリア候補の一つとして日系企業という選択肢もあることを提示できたこと**にポジティブな評価が多く、**今後の日米経済関係を担う人材発掘の面からも有意義**であった。

日時等



6月13日 イベント
(於:大使公邸)

- 実施日時:2023年6月13日(火)、6月21日(水)、9月30日(土)、10月25日(水)
- 実施場所:ワシントンDC(大使公邸、旧大使公邸含む)
- 訴求対象:米国政府職員、議会関係者、バージニア州政府関係者、企業関係者(含む女性リーダー)、流通関係者等
- 開催規模:約530人

概要



6月21日 イベント
(於:旧大使公邸)

- 「食と農を語るタベレセプション」や「ジャパンバージニアナイト2023」等の大型イベントの機会を捉え、日本酒、焼酎、ウイスキー、泡盛等を紹介する試飲イベントを開催。幅広い層に対して、**日本産アルコールの魅力を発信**する機会となった。
- 試飲ブースに隣接して**和牛や鰻等の日本産食品の試食ブースを設置**したり、塩麴の製作体験ができる場を提供する等、**日本の食文化を発信する場としても活用**することができた。

効果



9月30日 イベント
(於:ワシントンDC)



10月25日 イベント
(於:ワシントンDC)

- イベントに参加したことで、日本産ウイスキーの取扱いの開始を決定した業者も見られる等、実際の商談成立に貢献することができた。
- 6月13日に大使公邸にて開催したイベントでは、**大使主催の「ジャパンバージニアナイト2023」と連携**したことにより、**バージニア州の商務長官や財務長官の来場**も実現し、**同州幹部に対しても日本酒をアピール**することができた。
- 10月25日に開催された泡盛のプロモーションイベントでは、米国内で大きな市場を獲得しているメスカル(メキシコの伝統的な蒸留酒)のイベントとタイアップすることで、現地のスペイン語コミュニティに対するアプローチに成功し、**大使館として新たなネットワークを得る**ことができた。また、現地の農業情報誌のほか、スペイン語メディアでも取り上げられた。

日時等



左からトロン連邦下院議員、
リー州務長官、山田大使、ムー
ア知事、The Bird(Oriols)



山田大使・MD州の野球チーム
オリオールズマスコットキャラク
ター(The Bird)、ムーア知事



会場の様子



各ブースにて企業・団体から
の事業紹介を実施



神奈川県紹介ブース



メリーランド州紹介ブース

- 実施日時: 2024年3月6日(水)
- 実施場所: 大使公邸
- 訴求対象: **メリーランド(MD)州知事**、**州閣僚**(特に運輸長官、商務長官、州務長官)、**州議会議員**、**郡長**、日米ビジネス界、日本語教育関係者、姉妹州関係者、州内国立研究機関(NIH他)、メディア関係者等
- 開催規模: 380名

- 2024年1月に就任したムーア州知事との関係を強固にすべく、2015年以来9年ぶりに**日本とMD州関係者との関係構築**を目的としたイベントを大使公邸で実施。
- 主な参加者は、**国会議員1名**、**国会議員関係者7名**、州政府から**知事及び州務・運輸・商務・環境・住宅・総合サービス**、市民革新・退役軍人、各局8長官の参加があったほか、**州議会議員15名**、**日系企業68名**、**米企業39名**、教育機関・研究機関から約50名、**姉妹都市関係者等**の参加があった。

- 合計15の企業・団体がブース出展を行い、**全ブースに山田大使がムーア州知事を案内し、幅広い日・MD州関係をアピール**することができた。
- 具体的には以下の通り。(1)日本企業: JR東海、NEXCO西日本、i-Probe、日立レール、島津製作所 (2)MD企業: Underwood & Associates(生態系を保護する手法で護岸工事を実施)、Theradaptive, Inc.(バイオ・サイエンス企業)、オリオールズ(野球チーム) (3)姉妹都市: 神奈川県、メリーランド州、川崎・ボルチモア市 (4)MD酒造メーカー: Tobacco Barn Distillery(バーボン)、7 Locks Brewing(ビール) (5)その他: 日本観光(大使館)、全米桜祭り協会、Blossom of Hope
- **フジテレビがYoutubeチャンネルで本レセプションについて報道。**

<https://m.youtube.com/watch?v=luuER2rNm-0>

概要

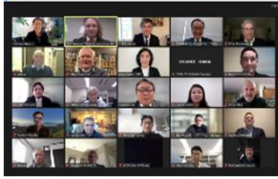
効果

日時等



- 実施日時: 2023年11月20日(月)・21日(火)
- 実施場所: オンライン
- 訴求対象: アラスカ州の研究者、政治経済関係者
北極関連プロジェクト・漁業関係者
- 開催規模: 87名(1日目53名、2日目34名)

概要



- 2022年1月、2023年1月に引き続き、第3回のシンポジウムとして開催。(1)防衛交流、(2)恐竜研究、(3)北極・研究開発活動、(4)環境配慮の慎重な経済開発活動、(5)活発な地域コミュニティ活動の5つの議題の下、2日間にわたり**専門家による活発なプレゼンテーション**、質疑応答を実施。
- 冒頭、**竹若北極担当大使**より我が国の北極政策やイニシアチブが述べられた他、**サリバン上院議員及びペルトラ下院議員**より**二国間北極協力に期待するビデオ・メッセージ**を紹介。
- 討議セッションでは**アラスカLNG、水産業、海藻養殖**等の様々なプロジェクトについて**日アラスカ間協力の展望について発表・議論**。
- さらに、アラスカ・ネイティブス連盟(AFN)の発表に続き、**千歳アイヌ協会**のビデオメッセージを紹介。

効果



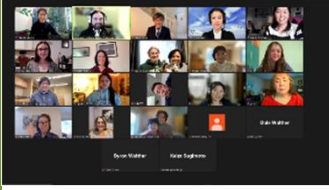
- 前回とは異なり、今回は**日アラスカ間協力関係の発展・展望**に焦点を当て議論。熱心な意見交換が行われ、次回開催を望む声が多く見られた。
- 特に環境に優しい海藻の養殖については臨場感溢れる質の高い養殖技術についての発表が多く、高い関心が寄せられた。

特記事項



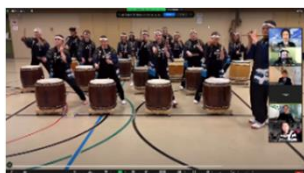
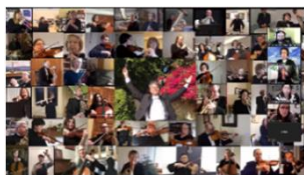
- 3回目開催のため、初回から一貫して協力頂いているアラスカ側研究者等の間では**行事の定着感**や**二国間協力への恒常的視点**が醸成。
- 最近の中国船舶のアラスカ海域付近通過等により防衛面での関心が高まりつつある中、防衛面での日アラスカ間協力にも出席者の知見を深化できた。

日時等



- 実施日時: 2024年1月26日(金)
- 実施場所: オンライン
- 訴求対象: 日本及びアラスカ州の一般市民
- 開催規模: 37名

概要



- **日アラスカ間の経済交流や観光促進を目的**とし、「自分の住む町の商店街や観光名所、伝統芸能、文化などの『お国自慢』紹介作品」を募集。
- 姉妹都市市民の口コミで情報が拡散し、最終的には24作品が応募。
- 発表作品には商店街のパン屋紹介の作品、長い夜と厳しい寒さの日々が続くアラスカの冬を、ライト・アップしたり、生け花教室、アイス・フィッシング、トレイル巡り等の活動で楽しく過ごす様子を紹介。商店街や観光名所を生き生きと紹介する作品に溢れる行事となった。
- 1位には天塩町地域おこし隊による俳句同好会を紹介するビデオ作品、2位にはパーマー市・佐呂間町間の学生交流を披露するビデオ作品、3位にはホーマー市・天塩町等との児童によるオンライン授業の作品が選出され、**伝統的な姉妹都市交流作品も発表**された。
- 冒頭、太鼓演奏で行事を盛り上げることができ、**日本文化を発信する場としても活用**することができた。

効果

- 歴史的偉人・和田重治郎を含む日アラスカの友好関係促進に貢献してきた人々を紹介する作品も紹介され、時間的に厚みのある日アラスカ友好関係を強調する行事とすることができた。

日時等



- 実施日時: 2024年2月7日(水)
- 実施場所: オンライン
- 訴求対象: 日・カリフォルニア州の政府関係者、企業関係者、大学関係者等
- 開催規模: 約250名

- 昨年10月、米国エネルギー省(DOE)がカリフォルニア州における水素ハブプロジェクト(連邦政府補助金は12億ドル)の採択について公表したことを受け、**日・加州間の更なる脱炭素化の取組を促進することを目的として開催。**

- 当該水素ハブプロジェクトに関係するカリフォルニア州の主たる関係者から情報提供を受けると共に、同分野に関連する日本政府及び日本企業等からも日本企業の取組や技術等に関し情報発信することで、**情報共有及び意見交換を通じた日米の関係強化を行った。**

- **水素ハブプロジェクトに関する米国側の取組を日本企業が聴取することで趣旨・狙いなどを理解し、また、日本企業(米国進出企業だけでなく日本国内の企業も含む)が持つ技術・ノウハウなどを米国関係者へインプットすることで、相互理解を深め日米両国の連携強化に寄与した。**

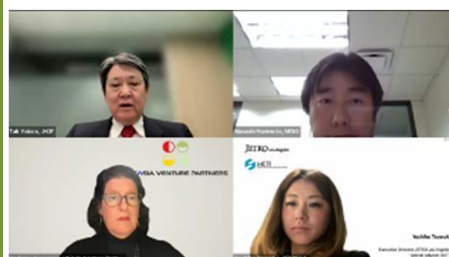
- 日本企業の関心を高める契機となることで、**我が国の業界関係者に参入しやすい環境を醸成する一助となる機会を創出することができた。**

- イベント終了後に行ったオンラインの参加者アンケート結果(満足度評価)では**9割近い方が満足したと評価。**

概要



効果



日時等



- 実施日時: 2023年7月20日(木)
- 実施場所: スタンフォード大学
- 訴求対象: シリコンバレー及び日本のスタートアップ企業関係者、投資家、産学交流関係者、大学関係者等
- 開催規模: 約320名

概要

- 日米間の相互理解を深めることを目的とした非営利組織である北カリフォルニア・ジャパンソサエティとスタンフォード大学の共催で、**破壊的イノベーションを起こすスタートアップを取り上げるイノベーションアワードシンポジウムを開催**。同イベントは2011年から開催され、**本年度で13回目のシンポジウム**。
- **優れた日米のスタートアップ企業を選出・表彰**することで、両国のイノベーション活動活性化やビジネス発展を促進。
- さらに、米国市場を狙う日本発スタートアップ企業の事業内容をシリコンバレーのビジネス関係者にプレゼンし、**シリコンバレー関係者とのネットワーキング機会を創出**。

効果

- 今年度の受賞企業は**ソフトウェア、ビッグデータ、AI、クリーンテック、リーガルテック、モビリティ**など多岐にわたる分野から選出。
- **スタートアップの育成**が岸田内閣が掲げる「**新しい資本主義**」の重点分野の一つとされる中、**日米スタートアップの活動が、両国間の関係強化に繋がる形で示され**、スタートアップ関係者、産学交流関係者等に対し、**日本のプレゼンスを示す好機となった**。
- **参加者数は昨年より約1割増加**。
- 甘利明衆議院議員や黒岩祐治神奈川県知事による日本側の政策紹介等も行われた。

日時等



- 実施日時: 2024年3月4日(月)
- 実施場所: カリフォルニア州サンタクララ市
- 訴求対象: 米国企業ビジネス関係者、シリコンバレー投資家等
- 開催規模: 約130名

概要



- 2022年3月に日本と加州における気候変動等に関する協力覚書が更新署名され、2023年3月にクナラカス加州副知事訪日ミッションが実施されたことを踏まえて開催。米国企業関係者や投資家等に対し、シリコンバレーを中心に活動する日本企業4社の気候変動・エネルギー分野における製品・技術や取組等について認知度を向上させ、日本企業と提携等している同分野のローカルスタートアップ5社の紹介と共に、日本企業が米国企業と同分野での協力を検討する機会を創出。
- 併せて、シリコンバレーで活動する日系のベンチャーキャピタリスト(VC)ら4名によるパネルディスカッションも実施し、同分野を含めた注目投資セクターや、日本企業・ローカルスタートアップ間の協業等における工夫などにつき議論が行われ、活況を呈した。

効果



- 参加者アンケートでは、10点満点の満足度で、8点以上とした者が8割を超えた。また、パネルディスカッションを延長して実施すべきだったとの声もあり、日本企業のみならず、日系VCの認知度向上にも繋がった。
- 日本企業と(プレゼンしたスタートアップを含めた)米国企業との協業等が今後さらに進展することを期待。

日時等



- 実施日時: 2023年10月21日(土)
- 実施場所: ネバダ州ヘンダーソン市
- 訴求対象: 日本産酒類に興味のある一般消費者
- 開催規模: 約230名

概要



- ネバダ州において最大の日本文化発信の場である**ネバダ秋祭りにおいて同祭りの会場にパビリオンを設置**(日本酒類のテイスティングブース)。
- 会場には**関係業者の協力**も得て、日本酒のほか日本産の泡盛、ワインやクラフトビールといった様々な酒類を用意。
- また、日本酒造組合中央会の協力も得て、日本酒に関する英語パンフレットを配布。**文化的な側面も含め、日本と日本酒に関し基本的な知識を紹介。**
- ブースでのテイスティングや事業者とのディスカッションを通じ、多くの参加者にとって日本について学ぶことができる機会となった。

効果



- イベント参加者へのアンケートでは、満足度に関する質問において、10段階評価で9点以上を選択した回答者が8割を超え、非常に満足度の高い事業となった。
- 同催しの参加者の多くが20代及び30代であり、**日本についての関心を高めるとともに、日本酒や日本文化を身近なものとして感じることで、これから米国において主要な労働者・消費者となる年齢層に好印象を与えることができた。**

日時等



- 実施日時: 2024年3月13日(水)
- 実施場所: ジャパン・イノベーション・キャンパス
- 訴求対象: 日系人を主とする若年層の米国人
- 開催規模: 80名

概要



- 非営利団体である北加州ジャパソサエティと当館の共催により、現地若年層日系人を対象に、現地酒類関連事業者及び日系飲食店の協力を得て、日本食文化PRイベントを開催。
- 清酒についてのレクチャーや、日本食とのペアリングを行うことで、対象者の日本食文化に対する興味を引き起こし、現地における日本食文化の普及促進を狙う。
- 日本食文化に触れることで、多様化が進み世代を経て日本との結びつきが希薄化している**若年層日系人の対日理解を促進及び関係構築**。



効果



- 米国内の一般層と比べ日本への関心が高く、更にこれからの購買力の伸びが見込める若年層日系人を対象としたことで、**現地における日本食文化の普及促進に繋がる効果的なPR**ができた。
- JET卒業生や日本語学習者、日本文化好き等の日本と繋がりを有する日系に限らない米国人の参加も複数あり、現地の幅広いコミュニティに属する若年層米国人に対して日本食文化の魅力発信を行うことができた。
- 本事業を通して、**日系企業が米国で円滑にビジネスを展開する環境づくりに資する対日理解促進及び親日派の育成**ができたことで、**中長期的な日米経済関係の強化へ貢献**することができた。

セミナー「インダストリー4.0を実現する最先端テクノロジー製造業サミット」 【在サンフランシスコ総領事館】

日時等



- 実施日時: 2024年1月30日(火)
- 実施場所: カリフォルニア州サンフランシスコ市
- 訴求対象: 米国テクノロジー企業関係者等
- 開催規模: 約70名

概要



- テクノロジー企業が集結するサンフランシスコ・シリコンバレーはAI、5G、IoT、クラウドコンピューティング等のテクノロジーの開発の中心地。
- 特に**5G、量子、光通信・コンピューティング**といった**最先端の技術分野は日本企業が強みを有する分野**でもあるため、こうした分野で製造業等における利用者等に**日本の技術をアピールすることが重要**である。
- このため、バイエリアにおける日本関連企業のプレゼンス向上や日米企業の協力深化を図り、**人的・経済的交流の拡大や日米サプライチェーンの強じん化**を目的として、**製造業分野や先端テクノロジー分野**の企業等を対象に、**日本の研究・技術力や日米の協力事例の紹介**を行うとともに、**日米企業のネットワーキングを実施**した。

効果



- 参加者アンケートでは、回答者**全員が5段階評価の満足度で最上位の5**を回答した。
- イベント後の感想聴取では、日本の次世代を見据えた技術開発の内容をよく理解できた等の声が多くあり、**日本の技術力等に対する認知度向上**に繋がった。
- ネットワーキングにおいても**生産性のある繋がりができたとの声**等があり、協業が更に進展することを期待。

日時等



- 実施日時: 2023年6月19日(月)
- 実施場所: カリフォルニア州オークランド市内
- 訴求対象: 飲食業・メディア関係者
- 開催規模: 約50名

概要



- 輸出拡大のポテンシャルが大きいと考えられるサンフランシスコ郊外のイーストベイエリアを拠点とする、**飲食業・メディア関係者を対象に、焼酎・泡盛の魅力を伝えるPR事業を実施。**
- 焼酎・泡盛に造詣が深く、現地メディアにも取り上げられ注目を集める**有識者より、焼酎・泡盛の歴史や特徴を紹介。**
- また、日米で活躍するミクソロジストを招き、**焼酎・泡盛を使ったカクテルの作成及び試飲を実施し、焼酎・泡盛の幅広い魅力をPR。**
- 加えて、**関連事業者各社による焼酎・泡盛の試飲会も同時に実施し、ビジネスマッチングの機会を創出。**

効果



- 参加者からは、「カクテルベースとして焼酎・泡盛に可能性を感じた」、「日本の著名なミクソロジストのカクテルを試飲できるのは貴重な体験」といった好意的な意見が聞かれた。
- イベント実施後のアンケートでは、**回答者の95%が満足度評価で5段階中5点満点と評価しているほか、今後の焼酎・泡盛の導入に関しても、85%が「確実に導入したい(Absolutely)」と回答しており、日本産蒸留酒の販路拡大に資する内容となった。**

日時等



- 実施日時: 2023年10月23日(月)
- 実施場所: 在サンフランシスコ総領事公邸
- 訴求対象: SF市関係者、各国領事団、メディア、インフルエンサー、飲食業関係者等
- 開催規模: 約80名

概要



- JETROサンフランシスコ事務所の協力の下、**SF市関係者、各国領事団、メディア、インフルエンサーや飲食業関係者**を対象に、日本産の農水産物・日本酒をPRするレセプションを開催し、総勢約80名が参加。



- フランス料理を得意とする公邸料理人による岩手県産前沢牛を使った和牛のパイ包み焼き等をメインに、現地の著名な寿司店から寿司職人を招聘し、北海道産のホタテや青森県産のマグロ等の寿司を提供。これにより、和洋両方から**日本産水産物・和牛の魅力**を効果的に発信。



- 現地の輸入業者の協力を得て、福島県及び岩手県産の日本酒のテイスティングブースを設置し、日本酒の魅力発信。



- **各品目の生産方法や品質管理等に関する解説動画の上映やバナー**を設置し、各品目の安全性を発信。

効果



- **各国領事団、経済関係者やインフルエンサー等の現地でキーパーソンとなる幅広い対象**に日本産農水産物・日本酒の魅力・安全性を的確に発信。

- イベントに招待したインフルエンサー等のフォロワー数は**合計で9万フォロワーを超え、SNSへの投稿やメディア掲載**によって、第三者の立場からも日本産の農水産物・日本酒の魅力を現地の一般消費者に訴求。

25 セミナー「シリコンバレー動向：日系企業とのモビリティ・テクノロジーの探求！」 【在サンフランシスコ総領事館】

日時等



- 実施日時：2023年6月20日（火）
- 実施場所：カリフォルニア州サンタクララ市
- 訴求対象：米国スタートアップ、投資家、米国テック企業関係者等
- 開催規模：約190名

概要



- 近年シリコンバレーでは、**自動運転技術、EV、空飛ぶクルマ、MaaS**等、多様な**モビリティ関連技術分野**が注目されている。これらの分野における日本大手企業が、スタートアップへの出資や協業等によるオープンイノベーション活動に取り組むに当たり、**日本企業の注力領域や課題等**を示し、日本企業と協業等しているスタートアップの紹介も併せて、**日本企業とスタートアップが同分野での協力を検討する機会**を創出。
- スタートアップとの協業等に積極的な日本企業5社と、日本企業と既に協業等しているスタートアップ4社のプレゼンテーションなど、活況を呈した。
- 休憩時には、サンフランシスコ・ベイエリア在住で活動するKyle & Mikeが津軽三味線演奏を披露。

効果



- 参加者アンケートでは、**5段階評価の満足度で4以上とした者が9割を超えた**。また、最も興味深かった企業として、既に日本企業と提携し、長崎県等でサービスを開始しているZiplineを挙げる声も多く、**日本における先進事例等の認知度向上にも繋がった**。
- 各企業の関心事項についての情報提供だけでなく、新たな人脈形成を促されており、これを通じた**新たな新事業・新分野が開拓されることが期待される**。

日時等



- 実施日時: 2024年1月27日(土)
- 実施場所: カリフォルニア州サンマテオ市内
- 訴求対象: 北中部加州の公選職(市長・市議)、姉妹都市関係者、日系企業等
- 開催規模: 約100名

概要



- 非営利団体である日カリフォルニア姉妹都市ネットワークと当館の共催により、当館管内の姉妹都市の活動をより活性化し、また、姉妹都市関係者間の横のつながりを強化すべく、ワークショップ及びネットワーキングを開催。
- **各地の地元公選職、日系企業関係者、若者を招待し、活潑な姉妹都市交流の状況を紹介するとともに姉妹都市関係者とのネットワーキングを促進。**
- 北加日本商工会議所と協力し、**日系企業の事業内容や地域における貢献について姉妹都市関係者等に紹介。**

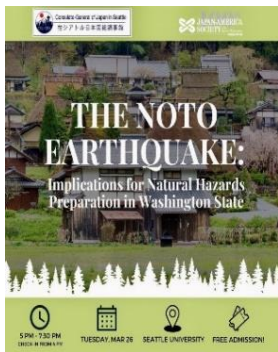
効果



- 2025年の大阪・関西万博開催及び同万博と合わせて開催が検討される全米姉妹都市協会による日米姉妹都市サミットを紹介し、**2025年をターゲットとした姉妹都市交流活性化の機運を醸成。**
- 現地の活潑な姉妹都市関係者に対して、各市を跨いだ**姉妹都市関係者間のつながりの強化、公選職との関わりの創出、ビジネス関係者や次世代人材とのネットワークの機会創出**といった総領事館ならではの付加価値を提供。
- **地元公選職及び姉妹都市交流を率いるコミュニティのリーダー**に対して日系企業の貢献を紹介しつつ、**ネットワーキングを促進することにより、各地で日系企業が円滑にビジネスを展開できる環境づくりに貢献。**

「能登半島地震～ワシントン州における自然災害対策への示唆」セミナー 【在シアトル総領事館】

日時等



- 実施日時：2024年3月26日（火）17:00～19:30
- 実施場所：ワシントン州シアトル市内（シアトル大学）
- 訴求対象：ワシントン州日米協会・シアトル日本商工会所属企業、ワシントン州・シアトル市防災・危機管理部門関係者、学生等
- 開催規模：75名（含むオンライン参加）

概要



- シアトル市は、今後50年間にマグチュード6.5以上の地震が発生する確率を84%と発表。一方で、住民の77%が十分な災害対策をとれていないとの調査報告もある。こうした中、本年1月1日に発生した能登半島地震が現地で起こり得る自然災害に対し、いかなる示唆を与えるのか、地震・津波の研究をリードする日本と現地の研究者による発表が行われた。
- 質疑応答では、各発表内容への具体的な質問に加え、「日本からもっと学びたい」、「メディアを通じた情報以上に、このようなイベントを通して関係者との繋がりが生まれ、深い知識を得られるのはワシントン州に極めて有益」といった指摘が相次いだ。

効果



- セミナーでは、直近の能登半島地震を取り上げ、日本の取組や対策を紹介し、**知見を現地の企業や防災・危機管理関係者等に広く共有**することで、**米国のパートナーとしての日本の姿を発信**することができた。参加したワシントン州の危機管理責任者は、「日本に期待するのは地震に関する専門知識と技術」と述べていた。
- 発表後のレセプションでは、**関係者間での人脈構築及び活発な意見交換**ができた。
- 参加者のアンケート結果では、満足度は5段階評価で「4.6」、日本に対する理解度の深化は「4.2」と高い評価を得ており、今後同様なイベントに参加したいとの回答が97%となった。

特記事項

- **日・ワシントン州経済・貿易関連協力覚書**では、協力分野の一つとして防災分野が挙げられており、今後、**防災分野での知見の共有や人的交流の促進及び技術連携の強化**が図られることが期待される。

日時等



- 実施日時: 2024年2月13日(火) 16:00~19:30
- 実施場所: 当館総領事公邸
- 訴求対象: ワシントン州商務局、現地クリーンテック企業関係者、シアトル日本商工会所属企業関係者、大学研究者等
- 開催規模: 40名



概要



- バイデン政権によるインフラ投資雇用法に基づき、2023年10月13日に全米7つの水素ハブプロジェクトに対して連邦政府からの資金提供が決定され、その1つとして、**米国太平洋岸北西部では、パシフィック・ノースウエスト・水素ハブ(PNWH2)が選出された。**
- これを踏まえ、**PNWH2などの米国太平洋岸北西部の水素関連コミュニティと日系企業関係者との対話の機会を設けるべく、セミナーを開催した。**



効果



- セミナーでは、**水素及びアンモニアをはじめ、我が国のクリーンテックに関する最新技術、知見、優良事案等をワシントン州商務局、現地クリーンテック企業関係者等と共有することで、米国のパートナーとしての日本の姿を発信することができた。**
- 発表後のレセプションでは、**関係者間での人脈構築及び活発な意見交換ができた。**
- 参加者のアンケート結果では、満足度は5段階評価で「4.5」と高い評価を得ており、今後同様なイベントに参加したいとの回答が100%となった。また、今回初めて総領事館主催のイベントに参加した人が50%を超え、既存のコミュニティ以外の人々に訴求することができた。



特記事項



- **日ワシントン州間の経済及び貿易関係に関する協力覚書では、協力分野として気候変動分野及びエネルギー分野があげられており、今後、これらの分野での技術開発の促進及び技術連携の強化が図られることが期待される。**

日時等



- 実施日時: 2023年10月12日(木) 17:00~20:30
- 実施場所: ワシントン州ベルビュー市内
(ヒルトン・ベルビュー・ホテル)
- 訴求対象: 現地経済関係団体(ワシントン州商工会、ワシントン州日米協会等)所属企業、シアトル日本商工会所属企業、学生等
- 開催規模: 44名

概要



- 2023年7月21日、**バイデン政権は、AIがもたらすリスクを管理するために大手AI企業による自主的コミットメントを発表**しており、ワシントン州では、これら企業を含め、AIを積極的に活用するにあたってのリスク等への関心が高い。そのワシントン州において、**AI技術を活用した技能の伝承に焦点を当てた技術及び知見を共有**した。
- 日本企業を始め、各企業から、AI技術を活用した技能の伝承にあたっての実証実験・臨床試験の効果や投資に係るノウハウについて発表が行われた。その後の質疑応答では、各発表の内容に対する具体的な質問が相次いだ。

効果



- **大手AI企業が本社を有するワシントン州において、AI技術を活用した技能の伝承に焦点を当てた優良事例や技術、知見を現地企業関係者等に広く共有**することで、米国のパートナーとしての日本の姿を発信することができた。
- 発表後のレセプションでは、**関係者間での人脈構築及び活発な意見交換**ができた。
- 参加者のアンケート結果では、**満足度は5段階評価で「4.5」と高い評価を得ており、今後同様なイベントに参加したいとの回答が100%**となった。また、今回初めて総領事館主催のイベントに参加した人が30%を超え、**既存のコミュニティ以外の人々に訴求することができた。**

特記事項

- **日ワシントン州経済・貿易関連協力覚書**では、協力分野の一つとしてAI分野があげられており、今後、**AI分野での技術開発の促進及び技術連携の更なる強化**が図られることが期待される。

日時等



- 実施日時: 2023年7月31日(水)~8月3日(木)
- 実施場所: イリノイ州シカゴ市
- 訴求対象: シカゴ市の行政・財界幹部及び一般市民
- 開催規模: 約500名(レセプション出席者約250名。各種会談・行事出席者約250名)

概要



Mayor Brandon Johnson
@ChicagoMayor

Since 1973, we have shared friendship and partnership with Osaka, Japan, so it was a tremendous honor to re-sign our sister city agreement this week with Mayor Hideyuki Yokoyama and continue to nurture a relationship that furthers our tech, innovation, and global economic power!



10:02 PM - Aug 4, 2023 - 55.4K views



- **大阪シカゴ姉妹都市提携50周年を記念して**横山大阪市長を始めとする大阪市代表団がシカゴを訪問。
- この機会を捉え、大阪市代表団の来訪及び両市の**姉妹都市提携50周年を祝うレセプションを開催**するとともに、**広報グッズ等を作成・配付し、両市の友好協力関係を効果的に発信**。
- 上記レセプションでは、現地の日本食レストランの協力も得て、**ジョンソン・シカゴ市長を始めシカゴ市の行政・財界幹部等に対して日本食・日本産酒類の魅力**を発信。
- さらに、**大阪・関西万博についても**広報し、上記の取組と併せて、現地の親日派・一般市民を含め、幅広い分野で両市の連携・協力が一層進展していくための機運の醸成に寄与。

効果

- 周年記念レセプション、市長間会談を通じ、両市長間の友好関係が促進され、**両市間で今後の協力に係る覚書が署名**された。
- 市長会談及びレセプション後の**シカゴ市長によるSNS投稿は55,000回以上、大阪市長による投稿は25,000回以上**閲覧され、両市の姉妹都市関係の意義・重要性について理解が促進された。
- **シカゴ経済界への発信**により、**両市間の貿易・投資・金融分野における協力に向けた議論**や大阪・関西万博に対する現地での認知度が一層深まった。

日時等



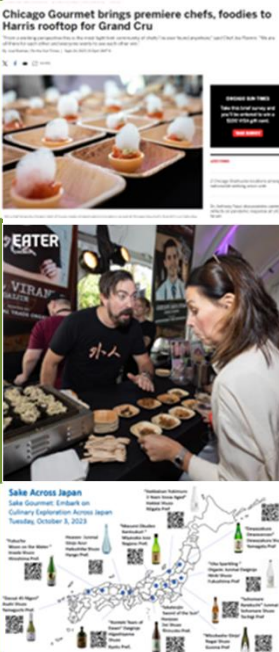
- 実施日時：①2023年9月23日(土)②同10月3日(火)
- 実施場所：イリノイ州シカゴ市
(① ミレニアム・パーク特設会場 ② 公邸)
- 訴求対象：インフルエンサー・メディア、飲食業関係者、ディストリビューター、現地一般市民
- 開催規模：①1200名、②40名

概要



- 「シカゴ・グルメ」(毎年秋に開催されるシカゴ最大のフードイベント)のメインイベント(Grand Cru)で、現地**富裕層・飲食業界関係者らに向けて日本酒、日本食のプロモーション**を実施。
- 現地を代表する和食店及び人気の日本酒ソムリエと協力。また、公邸では、現地日本酒専門家と公邸料理人が協力し、飲食店関係者、業界インフルエンサー及びメディア向けイベントを開催。
- 両イベントを通じ、「Sake Across Japan」と題して日本各地の日本酒の試飲を行うとともに、JETROと協力して日本産食材を使用した試食を提供。特に公邸では日本産ホタテ・ブリや和牛等を用いた料理も提供。日本酒・日本食材の魅力発信を通じ、**輸出拡大及びインバウンド観光の増加**を意識した発信を行った。

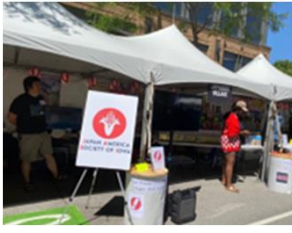
効果



- 「シカゴ・グルメ」では、グルメ志向の高い富裕層や業界関係者に日本酒・日本食材の魅力効果を効果的に発信でき、現地**代表紙シカゴ・サンタイムズやグルメ層が愛読するEater Chicagoの記事に写真が掲載される等、高い発信効果**を得られた。
- 公邸イベントにはNYを中心に日米で活躍する日本酒コンサルタントも参加。**現地飲食店・メディア関係者や業界インフルエンサーが、日本酒・和食への理解を更に深め、また日本産食材の魅力の評価する機会**となった。提供した日本酒や日本食材・調味料等の導入に関心を示した飲食店関係者等にディストリビューターを紹介した。

対日理解向上によるビジネス環境・姉妹都市交流促進事業 【在シカゴ総領事館】

日時等



- 実施日時: 2023年5月26日(金)～5月27日(土)
- 実施場所: アイオワ州デモイン市
- 訴求対象: 草の根の一般市民、地元企業など
- 開催規模: 約85,000名

概要

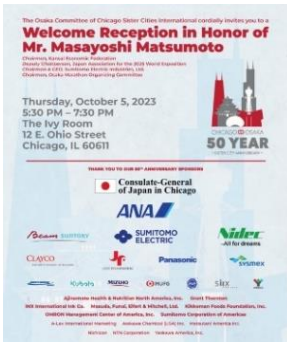


- 毎年5月は「Asian/Pacific Asian Heritage Month」であり、アイオワ州デモイン市では毎年アジア系コミュニティが各国の文化・食・催しなどを実施。
- 今回のテーマは“Jewels of Asia”であり、日本ブースではアイオワ日米協会が中心となり、**アイオワ進出日系企業と連携し、おにぎりや餃子を一般市民に提供し、日本食の魅力、日本の食文化を発信。**
- あわせて、同ブースにて、アイオワ州と60年以上姉妹州県関係を結ぶ山梨県の文化・工芸品も展示し、**アイオワ・山梨間の友好関係について広報を実施。**
- 各国ブースの他、日本からは、炊込みご飯の調理実演のほか、ファッションショーや太鼓の演奏などが実施された。

効果

- 家庭で手軽に楽しめる日本食の紹介や調理の実演により、日本料理がレストランだけでなく、一般家庭においても親しめる料理であることをアピール。
- 昨年に続いて提供したおにぎりは、日本の食文化の一つとしてアイオワ市民に定着しつつあることが確認できた。また、日系企業から提供のあった試食品の餃子は大変好評で、日本の食品への関心の高さが確認でき、日本文化に対する認知度と共感の向上につながるイベントとなった。
- 日本食・食文化とともに我が国の魅力を様々な年齢層に複合的に伝えることができ、**現地日系企業を取り巻くビジネス環境の一層の整備に資する貴重な機会**となった。

日時等



- 実施日時: 2023年10月5日(木)
- 実施場所: イリノイ州シカゴ市
- 訴求対象・開催規模: イリノイ州政府関係者、シカゴ市関係者、企業関係者、各国総領事約150名
- 協力日本酒関係事業者4社4名
- プロモートする日本酒: 兵庫、大阪、福島の日本酒合計8種類

概要



- シカゴ市・大阪市姉妹都市関係50周年を迎え、現地での日米連携について機運の高まる中、**経済団体World Business Chicagoと連携**し、同団体主催の関西経済連合会松本会長歓迎レセプションにおいて、シカゴの経済関係者約150名に対し、日本酒の魅力を発信するイベントを開催。
- 柳総領事から企業、市政府等におけるコーポレートイベントでの活用を呼びかけた。
- テイスティングブースの設置、現地日本酒ビジネス関係事業者によるサーブ及び説明、当該事業者によるプログラム中での挨拶、スパーキング日本酒での乾杯を行い、今後のビジネス拡大や日本酒への理解度増進に向け、**事業者と参加者間のネットワークを促進**した。

効果

- 本イベントにより、11月のシカゴ副市長及び姉妹都市関係者の訪日等に向け、現地の行政・経済関係者に対し、**日本の酒と食文化への関心を向上**させた。
- 日本酒ビジネス関係事業者からは、**企業において裁量を持つハイレベルな参加者が多く集まるイベントは貴重**であり、日本酒プロモーションにおいて非常に意義あるイベントであったとのコメントが寄せられた。
- 訪日前に情報を収集するとの観点から、日本酒について情報が欲しい米国人企業関係者、姉妹都市関係者も多く訪れた。

草の根キャラバン(ミネソタ州ブルックリンパーク市)

【在シカゴ総領事館】

日時等



- 実施日時: 2023年12月20日(水)～21日(木)
- 実施場所: ミネソタ州ブルックリンパーク市
- 訴求対象: 議会関係者、市関係者、日系企業関係者等
- 開催規模: 約18名(全行程)

概要



- ブルックリン市長、市関係者、エマー連邦議員事務所関係者と共に、ミネソタ州ブルックリンパーク市の日系企業を訪問。日系企業から、メディカル・アレイのメンバー間での連携や、労働力開発のための地元当局、大学、コミュニティカレッジ、高校との連携について紹介、意見交換及び工場視察を実施。
- ミネアポリス市において、ウォルズ州知事、ヴァリレック雇用経済開発局長官とそれぞれ面会し、日ミネソタ関係等について、意見交換を実施。

効果



- ミネソタ州では今回が4度目のキャラバン実施。
- 地元市長、市関係者、連邦議員事務所補佐官まで幅広い地元リーダーの参加者に対し、労働開発面等での日系企業の地域への貢献について発信し、理解を進めることができた。
- ブルックリン市長は9月の日米中西部会の機会に州知事と共に訪日し、今後の更なる企業支援に向けて来年(2024年)企業と会合を持ちたい旨述べた。
- 州知事からもミネソタ州進出日系企業に対する高い信頼と評価が述べられるとともに、日本は同盟国の信頼できるパートナー企業であるとの発言があり、草の根キャラバンを通じて、地域のリーダーと日系企業の良好な関係が更に深まった。

草の根キャラバン(イリノイ州シャンバーグ村)

【在シカゴ総領事館】

日時等



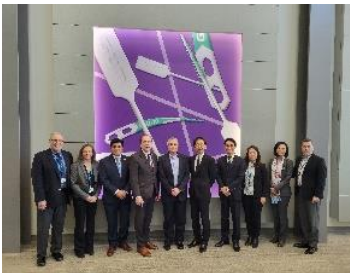
- 実施日時: 2024年3月15日(金)
- 実施場所: イリノイ州シャンバーグ村
- 訴求対象: 議会関係者、市関係者、商工会議所、日系企業関係者等
- 開催規模: 19名(全行程)

概要



- イリノイ州では今回が5度目のキャラバン実施。シャンバーグ村においてアマダアメリカ(金属加工機器)、サンスター(オーラルケア)、Sodick(放電加工機)を**シャンバーグ村長とともに訪問し、意見交換**を行った。
- **イリノイ州商工会議所会長**等の参加を得て、**日系企業の地域への貢献**や日本との関係について理解を深め、今後の更なる協力可能性を探る良い機会となった。
- アマダアメリカ視察の際に、クリシュナムルティ連邦下院議員(民)も加わり、一行と懇談。

効果



- キャラバンでは、約1か月後に予定されている**岸田総理の訪米とその意義につき説明**。
- **クリシュナムルティ連邦下院議員**から、自分の選挙区には**全米で最も多くの日本企業が本社機能を置いていることを誇りにしている**、**岸田総理の訪米の重要性**に賛同し、日本の日米同盟のみならず、日米に繋がる他の有志国との協力の枠組みも高く評価する旨の発言があった。
- **連邦議員から、連邦議員事務所補佐官、市関係者、地元村長まで幅広い地元リーダーの参加者**に対し、労働力の開発の面等での**日系企業の地域への貢献について発信**し、理解を深めることができた。

草の根キャラバン(インディアナ州ヴィンセンス市、エヴァンズビル市、プリンストン市、フレンチリック市) 【在シカゴ総領事館】

日時等



- 実施日時: 2024年2月26日(月)~28日(水)
- 実施場所: インディアナ州ヴィンセンス市、エヴァンズビル市、プリンストン市、フレンチリック市
- 訴求対象: 議会関係者、市関係者、日系企業関係者、経済開発組織関係者等
- 開催規模: 114名(全行程)

概要



- ヴィンセンス市において昨年9月の中西部会に参加した**市長、郡経済開発公社専務理事**と意見交換を実施。
- トヨタインディアナ周辺2市の市長、経済開発組織関係者、トヨタインディアナ社長等と**日系企業による地域貢献、地域との連携**について意見交換を実施。
- ブジョン連邦下院議員事務所関係者と共に、プリンストン市のトヨタインディアナを訪問。
- フレンチリック市において、州南西部8群から構成される経済開発機構Radius Indianaと連携し、**州財務官、郡関係者、11名の市長、経済開発組織関係者、3名の連邦議員(共)地元事務所長と夕食会、昼食会、ラウンドテーブル**を実施。

効果



- インディアナ州では今回が10度目のキャラバン実施。
- 地元市長、市関係者、連邦議員事務所長等に対し、スピーチ等を通じて、**日米同盟の重要性と岸田総理の訪米と成果への期待**や、**日米パートナーシップの基礎に信頼と友情の絆**があり、それは**長年にわたる経済・人的・文化的交流**により培われてきたこと等メッセージを発信。
- 今回の草の根キャラバンを通じて、参加者からは、地域の日系企業に対する期待と感謝が示され、**日系企業による地域貢献が参加者間で改めて共有**されると共に、インディアナ州南西部地域と日本の良好な関係がさらに深まった。